

サポートデスクにおけるタブレット型端末利活用支援

Assisting Use of Tablet-type device by Support Desk

遠藤啓太 樋田康宏

Keita ENDO Yasuhiro HIDA

札幌学院大学 電子計算機センター

Computer Center, Sapporo Gakuin University

Email:S120460@e.sgu.ac.jp

概要：札幌学院大学電子計算機センターでは、学生スタッフが教職員と協働し、教員や学生に対してPC利活用支援、学内システム利用支援などを行っている。ここ数年、従来のPCに加えて、スマートフォンやタブレット型端末のネットワーク利用申請が増えていることから、これらの機器を利用した講義形態の普及が予想される。また、本学ではアクティブラーニング教室が整備され、タブレット型端末を用いたグループ学習も実施されている。このような状況をふまえ、講義等におけるタブレット型端末の利活用の方法を、電子教材活用、各種アプリケーションソフト活用などの側面から検討し、サポートデスクにおける将来的な支援の可能性を探る。

1. はじめに

札幌学院大学電子計算機センターサポートデスクでは、本学学生がスタッフとして教職員と協働し、パソコン利活用支援等を行っている。本報告では、サポートデスクとしてのタブレット型端末の利活用支援の在り方と方法について検討した結果を記す。

2. 本学におけるタブレット型端末の活用状況

サポートデスクでは、窓口業務として学生や教員向け学内無線LAN利用申請受付を行っており、ここ数年、iPadなどのタブレット型端末の利用申請を行う学生や教員が増加している。

タブレット型端末は、ノートパソコンに比べて携帯性が高く、スマートフォンよりも画面サイズが大きく同時に閲覧できる情報量が多い。タブレット型端末の講義での用途としては、電子教材の閲覧、板書の代替などが想定される。本学では、iPad miniをグループ学習の際の情報ツールとして活用している事例もある。

今後、活用の範囲が広がることを想定し、サポートデスクが学生や教員に向けてタブレット型端末の利活用方法を提案することを検討した。以下、具体的に記していく。

3. 活用法の案内

タブレット型端末の利活用支援の間接的な方法として、各種媒体を用いた活用法の案内があると考ええる。

3. 1 壁新聞

サポートデスクでは、「かっぱい通信」という名称の壁新聞を年2回ほど発行して、業務の広報の目的で学内に掲示している。この壁新聞の、これまでの主な掲載内容は、実習室の利用状況、コンピュータリテラシーを学ぶ科目「コンピュータ基礎A・B」の課題の取り組み状況、学内無線LAN環境について等であった。この「かっぱい通信」で学生や教員にタブレット型端末の利活用に関するコラムを掲載し、読んでもらうことで、タブレット型端末の利活用方法を案内できると考えている。

3. 2 ホームページ

本学の情報ポータルは学内外のパソコンやスマートフォンからも閲覧可能であるが、情報ポータルで確認するためだけにパソコンを起動しなければならない。また、現時点では、ページがスマートフォンのサイズになっていないため、閲覧者にとっては不便である。他方、これに比べて、タブレット型端末

の場合は、相対的に画面サイズが大きく閲覧に支障が生じない。本学では、履修登録を情報ポータルで行うので、容易に登録作業を行えることが望ましい。その際、タブレット型端末を活用することで、時間と場所を選ばずに履修登録の確認や検討を行うことが出来る。学生や教員用の教育用メールの利用もタブレット型端末で利用可能である。

上記の情報ポータルや教育用メールの使用についてタブレット型端末で閲覧する利点をサポートデスクホームページで案内できると考えている。

3. 3 リーフレット

タブレット型端末を使うことの利点を説明したリーフレットを製作した。まずは関心を持ってもらうことが優先するので、タブレット型端末を利用したことがない人にも理解できるように難しい言葉を避け、細かな使用方法については省いた(図1)。このリーフレットは今後、サポートデスクの入口等に設置し、タブレット型端末の無線 LAN 申請時やタブレット型端末に関心がある学生などに配布する予定である。

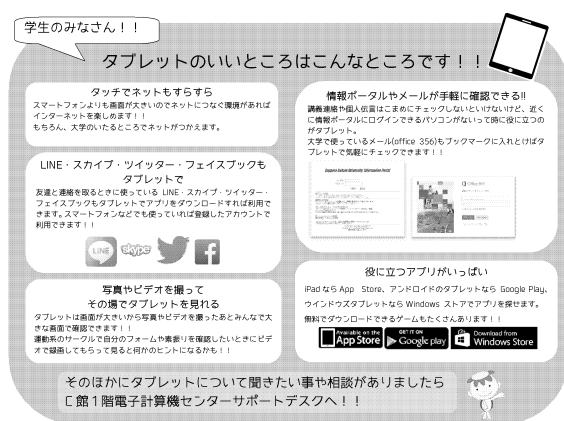


図1. タブレット型端末に関するリーフレット

4. アプリケーションソフトの調査

教員や学生が利用できそうなタブレット型端末(iPad)で利用できるアプリケーションソフトを調査し、紹介する準備をしている。そのいくつかを紹介する。

BamBoo Paper は、手書きのメモをとるアプリで写真の挿入も可能なため、プロジェクトに接続し投影することで、タブレット型端末を黒板のように利用することができる。また、Dropbox や Evernote に

製作したメモを文章形式でアップロードすることが可能であるため、教員が講義の内容を講義後公開し、学生の復習に活用できる。

AnkiBlank は電子的な単語帳を製作・閲覧ができるアプリで、覚えたい箇所を空欄にして答えのところをタップすれば表示できる。調査前に学生個人で覚えたいものを製作することはもちろん、パソコンで CSV ファイルでデータを作り、インポートすることも可能なため、教員が問題を製作し、学生に配布できる。

te.to.te は、複数人でリアルタイムに手書きの文字やイラスト・写真などを同時編集できるメモアプリである。ゼミナールなどでディスカッションやアイデアを出す時に活用できると考えている。

5. おわりに

サポートデスクでは、教職員や学生に対して PC のトラブル対応や相談を行っているが、今後、タブレット型端末に関するトラブルや相談も対応できる体制が必要であると考えている。

例えば、タブレット型端末の無線 LAN 接続トラブル対応、教材等の紙媒体の電子化とタブレット型端末上での閲覧の支援、教室内でのプロジェクト接続作業の支援などである。

現在のところ、タブレット型端末に関する対応は、スタッフ個人の技量に依存している。今後、教員や学生がタブレット型端末の利活用について相談できる環境をサポートデスクで作っていくことが課題である。

参考サイト

(1) 札幌学院大学サポートデスクホームページ
<http://ext-web.edu.sgu.ac.jp/supportdesk/top.html>

(2) BamBoo Paper

<http://www.wacom.com/ja-jp/jp/everyday/bamboo-paper>

(3) AnkiBlank

<http://ja.ankiblank.com/>

(4) te.to.te

<http://tetote.io/>